

チョン・イヒョン

Jeong Yi-Hyun

韓国を代表する新鋭女性作家。1972年、ソウル生まれ。誠信女子大学政治外交科と、ソウル芸術大学文芸創作科を卒業。2002年、第1回「文学と社会」新人文学賞で文壇に登場し、翌年小説集『ロマンチックな愛と社会』を出す。短篇『他人の孤独』で、2004年にイ・ヒョソク文学賞を受賞し、短篇『サムブン百貨店』で、2006年現代文学賞を受賞した。「朝鮮日報」に連載された『マيسウィートソウル』は韓国で大きな話題となった。

パク・ヒョンウク

Park Hyun-Uk

1967年、ソウル生まれ。1991年、延世大学社会学科哲学専攻卒。2001年『同情のない世の中』で第6回文学トンネ新人作家賞を受賞し、作家デビュー。2003年に長編『鳥は』を発表。若手の先頭を行く、才能豊かな作家として期待されている。

森 絵都

Mori Eto

1968年、東京生まれ。早稲田大学第二文学部卒業。児童文学創作の傍らアニメーションのシナリオも手がける。1990年『リズム』で第31回講談社児童文学新人賞を受賞しデビュー。その後も数々の作品で多数の文学賞を受賞している。『カラフル』『DIVE!!』は映画化された。2006年『風に舞いあがるビニールシート』で第135回直木賞を受賞。他に『宇宙のみなご』『流れ星におねがい』『アーモンド入りチョコレートのワルツ』『つきのふね』『永遠の出口』『いつかパラソルの下で』『ぼくだけのこと』『ラン』『架空の球を追う』『君と一緒に生きよう』等。

中村文則

Nakamura Fuminori

小説家。1977年、愛知県東海市生まれ。2000年、福島大学行政社会学部応用社会学科卒業。以後、作家になるまでフリーターを続ける。ドストエフスキーやカフカ、カミュなどから影響を受けたとされる。2002年『銃』で第34回新潮社新人賞を受賞してデビュー、芥川賞候補となる。2004年『遮光』で第26回野間文芸新人賞を受賞。2005年『土の中の子供』で第133回芥川賞を受賞。2010年『掏摸(スリ)』で第4回大江健三郎賞を受賞。他に『悪意の手記』『最後の命』『何もかも憂鬱な夜』『世界の果て』『悪と仮面のルール』。

後藤美菜子

Minako Goto

アナウンサー。秋田市出身。秋田高校、津田塾大学文学部英文学科卒業。「2004年度ミス・ワールド日本代表」、2006年、秋田テレビ入社。「AKT スーパーニュース」のキャスターを3年間務めた後、2010年から夕方の情報番組「がっこ茶っこTV」MC。「韓国大好き」で、特に韓国の美容・ファッション・食文化に関心がある。



◎秋田公立美術工芸短期大学 案内図



秋田公立美術工芸短期大学 / 〒010-1632 秋田市新屋大川町 12-3

●JR「秋田」駅より秋田中央交通バス新屋行き「美術工芸短期大学入口」徒歩1分

●JR「秋田」駅より車で約20分

●JR 羽越本線「新屋」駅から徒歩10分